AKAI PROFESSIONAL

MPK mini plus

クイックスタートガイド

安全にお使いいただくために

この取扱説明書で使用している危険防止のマーク


このマークは、操作とメンテナンスにおける重要な指示があることを示しています。


このマークは、適切な電圧で機器をしようしないと、感電の恐れがあるという警告です。


このマークは、ご利用出力コネクターが感電を起こす恐れのある電圧を含んでいるという警告です。

製品をご使用の際は、以下の使用上の注意に従ってください。

1. 注意事項を必ずお読みください。
2. 注意事項を必ずお守りください。
3. すべての警告に従ってください。
4. すべての注意事項に従ってください。
5. 水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は、乾いた布を使用してください。液体洗剤は、フロントパネルのコントロール装置を損なったり、危険な状態を招いたりする恐れがあるので、使用しないでください。
7. 取扱説明書に従って設置してください。
8. 暖房器具や調理器具、アンプを含むその他の音楽機器など、熱を生じる機器の近くには置かないで下さい。
9. 電源プラクは、危険防止のために、正しく使用してください。アース端子付の電源プラグは、2 つのブレードのほかに棒状のアース端子が付いています。これは、安全のためのものです。ご利用のコンセント差込口の形状に合わないときは、専門の業者にコンセントの取り替えを依頼してください。
10. 電源コードを誤って踏んだり、挟んだりしないように注意してください。特にプラグ部、コンセント差込口、本装置の出力部分に注意してください。
11. 付属品は、メーカーが指定しているものを使用してください。
12. 音響機器専用の台車、スタンド、ブラケット、テーブルに乗せて使用してください。設置の際、ケーブルの接続や装置の設置方法が、損傷や故障の原因にならないよう注意してください。
13. 雷が鳴っているときや、長時間使用しないときは、プラグを抜いてください。
14. 修理やアフターサービスについては、専用窓口にお問い合わせください。電源コードやプラグが損傷したとき、装置の上に液体をこぼしたり、物を落としたりしたとき、装置が雨や湿気にさらされたとき、正常に動作しないとき等、故障の際は、修理が必要となります。
15. 本装置は、正常に動作していても熱を発生しますので、周辺機器とは最低 15 センチ離し、風通しの良い場所でご利用ください。
16. 主電源プラグまたはアダプターをコンセントからいつでも抜ける状態にしておいてください。
17. 本装置をアンプに接続して、ヘッドホンやスピーカーで長時間、大音量で使用すると、難聴になる恐れがあります。(聴力低下や、耳鳴りを感じたら、専門の医師にご相談ください)。
18. 水がかかるような場所に置かないでください。花瓶、缶飲料、コーヒーカップなど、液体が入ったものを本装置の上に置かないでください。
19. 警告：火災や感電防止のため、雨や温気にさらさないでください。


このマークのついた製品は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に、アダプターのアース線を接地してご使用ください。

製品保証規定

1. 製品の保証期間はご購入日より一年間です。

2. ご購入時の納品書・領収書がご購入証明になります。紛失しないように大切に保管してください。

3. 保証期間内の無償修理はお買上げの販売店にご依頼の上、購入証明をご提示ください。

4. 贈答品などでお買上げ販売店が不明な場合には、弊社カスタマーサポート部へご相談ください。

5. 保証期間内でも次の場合には有償修理になります。
   （イ） ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
   （ロ） お買上げ後の移動や落下などによる故障および損傷。
   （ハ） 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷。
   （ニ） 消耗部品の交換。
   （ホ） 購入証明のご提示がない場合。
   （ヘ） 購入証明にご購入日および販売店名の記載がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。

6. inMusic Japan は製品の使用不可能または不具合に基づく損害、また法律の定める範囲内での人身傷害を含める、いかなる二次的および間接的な損害賠償の責任を負いません。保証条件や本保証に基づき inMusic Japan が負う責任は販売国の国内でのみ有効です。本保証で定められた修理は inMusic Japan でのみ行われるものとします。

7. オークションなどを含む中古販売品・個人売買品・未開封品の二次販売等は本保証の対象外となります。

8. 修理およびその他ご不明な点につきましては、弊社カスタマーサポート部へご連絡ください。

inMusic Japan 株式会社　カスタマーサポート部
東京都港区南麻布 3-19-23 オーク南麻布ビルディング 6 階
[Web] inmusicbrands.jp
[サポート] www.inmusicbrands.jp/support/

クイックスタートガイド

はじめに

同梱品

MPK mini Plus 本体

USB ケーブル

クイックスタートガイド (本書)

ソフトウェアダウンロードカード

重要：http://akai-pro.jp/ の MPK mini Plus 製品ページにアクセスし、 フルバージョンのユーザーガイドをダウンロードしてください。

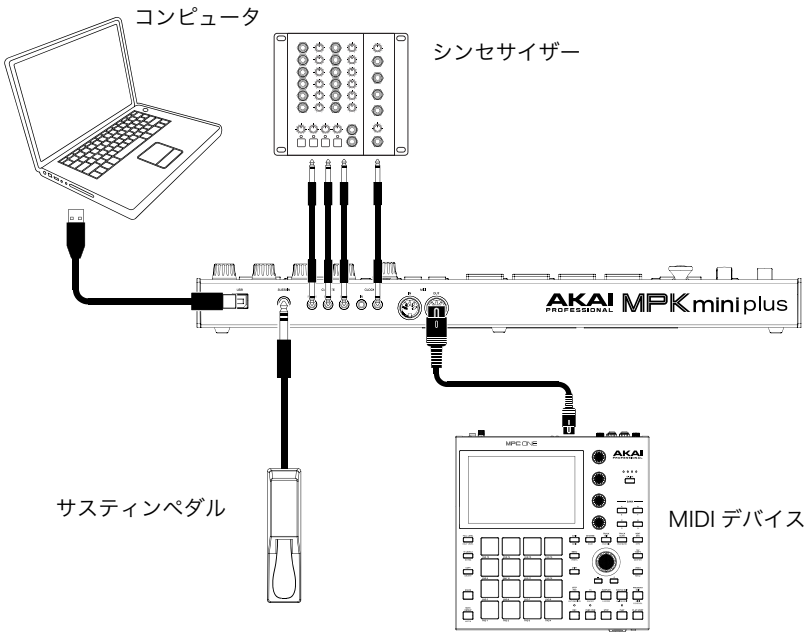
サポート

この製品に関する最新情報（ドキュメンテーション、技術仕様、システム要件、互換性情報など）および製品登録については、http://akai-pro.jp/ をご覧ください。
その他の製品サポートについては、http://akai-pro.jp/support/ をご覧ください。

セットアップ

接続例

はじめに > 同梱品 に記載のないものは別売りです。



ソフトウェアでのセットアップ

MPK mini Plus をソフトウェアで使用するには、MPK mini Plus 本体をコンピューターの USB ポートに、標準的な USB ケーブルで接続します。

注意: USB ハブを使用する場合は、電源付きの USB ハブをご使用ください。

MPK mini Plus を MPC Beats で使用する設定

1. MPC Beats を開き、MPC Beats > Preferences > MIDI/Sync の順にメニューを開きます。MIDI 入力デバイスとして「MPK mini Plus」と表示されるので、右隣の TRACK ボタンと CONTROL ボタンを押して本機を MIDI 入力デバイスとして設定してください。このメニューの MIDI OUTPUT ポートの下にある SYNC ボタンを押すことで、本機と DAW の BPM 設定を同期させることも可能です。
2. MPC Beats 上のリストから使用するインストゥルメントを選択し、本機で演奏します。コンピューターに接続したスピーカーやヘッドホンから音が出力されます。

MPK mini Plus を Garage Band で使用する設定

1. GarageBand を開き、**GarageBand > 環境設定 > オーディオ/MIDI** の順にメニューを開きます。MIDI 入力デバイスとして「MPK mini Plus」と表示されるので、本機を MIDI 入力デバイスとして設定してください。
2. GarageBand 上のリストから使用するインストゥルメントを選択し、本機で演奏します。コンピューターに接続したスピーカーやヘッドホンから音が出力されます。

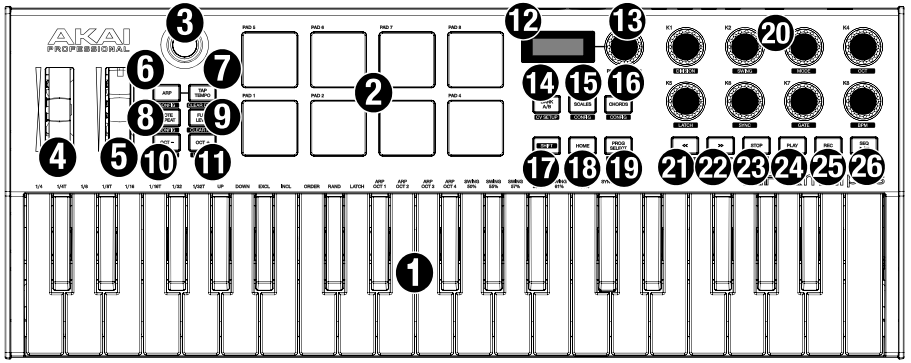
MPK mini Plus をその他のソフトウェアで使用する設定

MPK mini Plus を DAW のコントローラーとして使用する設定:

1. DAW を開きます。
2. DAW の **Preferences**（環境設定） **Options**（オプション）**Device Setup**(デバイス設定)などのいずれかを開き、ハードウェア・コントローラーとして **MPK mini Plus** を選択し、そのウィンドウを閉じます。これで MPK mini Plus はお使いの DAW と通信できるようになります。

機能

トップパネル



1. **キーボード：**ベロシティ対応の 37 鍵盤です。**OCTAVE UP/DOWN** ボタンを押す事で、最大 10 オクターブまで演奏可能です。また、鍵盤は特定のコマンドの入力にも使用します。アルペジエーターのパラメータを設定するには、本機左上 **ARPEGGIATOR** セクションの **ON/OFF** ボタンを押しながら、任意の鍵盤を押します。 **Note Repeat** ボタンを押しながら、任意の鍵盤を押すことで、ドラム設定を変更することができます。

2. **ドラムパッド：**パッドを使用すると、ソフトウェア上のドラムサンプル等を演奏する事が出来ます。パッドはベロシティ対応でとても反応が良く、直感的な演奏が可能です。MPK mini Plus には、2 つのパッドバンクがあり、**Bank A/B** ボタンを押すことで、それぞれのバンクへ切り替えが行えます。**Prog Select** ボタンを押しながらドラムパッドのいずれかを押すことで、保存された 8 個のユーザー設定をロードする事が可能です。

3. **X-Y コントローラー：**この 4 軸のサムスティックを使用し、ピッチベンドの MIDI メッセージや MIDI CC メッセージを送信します。

4. **ピッチベンド・ホイール：**このホイールを操作すれば、鍵盤で弾いた音にピッチベンド効果を加えることができます。この操作を駆使すれば、例えばギター風のリフなど、通常の鍵盤演奏では得られないフレーズを演奏することができます。

5. **モジュレーション・ホイール：**このホイールを操作すれば、演奏中の音にバリエーションを加えることができます。このタイプのリアルタイム・コントローラーは、もともとアコースティック楽器の演奏者が行うようなビブラートなどを電子キーボードで表現するために導入されたものです。

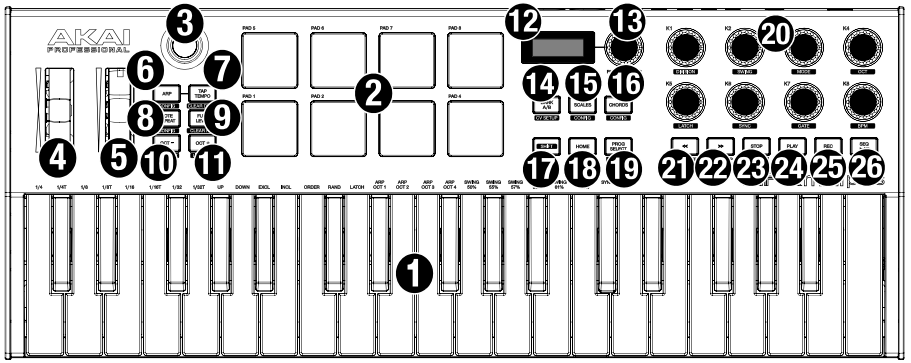
6. **ARP/CONFIG ボタン：**このボタンでアルペジエーターの ON/OFF を切り替えます。アルペジオが Latch（固定）の状態でこのボタン押すとアルペジオ演奏が止まります。このボタンを押しながら鍵盤のいずれかを押すと、各パラメーターの変更が可能です。**SHIFT** ボタンを押しながらこのボタンを押すと、アルペジエーター機能の設定メニューが表示されます。

7. **TAP TEMPO/CLEAR DRUM ボタン：**このボタンを任意のスピードで数回タップすることで、アルペジエーターおよびシーケンサーの BPM（テンポ）を変更できます。

   SHIFT ボタンと、このボタンを同時に押し続けることで、シーケンサーのドラム・イベントを全て消去できます。

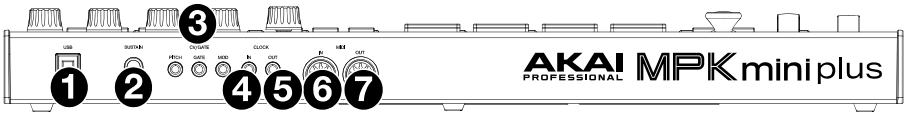
   注意：この機能は、外部 MIDI または CV クロックに同期している場合は無効となります。

8. **NOTE REPEAT/CONFIG ボタン：**このボタンを押しながらパッドを押すと、現在の BPM(テンポ)および **タイムディビジョン**の設定に基づくタイミングで、サンプルが繰り返し鳴ります。再度このボタンを押すと、NOTE REPEAT 再生は OFF になります。 **SHIFT** ボタンを押しながらこのボタンを押すと、NOTE REPEAT 機能の設定メニューが表示されます。
9. **FULL LEVEL/CLEAR KEY ボタン：**このボタンを押すことで、FULL LEVEL モードがオンになり、パッドを叩く強さにかかわらず、 MIDI 情報がフルレベル（ベロシティ 127）で出力されます。 **SHIFT** ボタンを押しながら、このボタンを押すことで、シーケンサーのキーボード・イベントを全て消去できます。
10. **OCTAVE DOWN/STEP EDIT ボタン：**キーボードのオクターブを 1 から 4 の範囲で下に移動します。両方のオクターブボタンを同時に押すと、キーボードがデフォルトのオクターブ位置にリセットされます。**SHIFT ボタン**を押しながら、このボタンを押すと、STEP EDIT メニュー が表示され、キーやドラムシーケンスをステップ単位で編集が行えます。詳しくは**ステップエディタを使用する**をご参照ください。
11. **OCTAVE UP/LIVE SEQ ボタン：**キーボードのオクターブを 1 から 4 の範囲で上に移動します。両方のオクターブボタンを同時に押すと、キーボードがデフォルトのオクターブ位置にリセットされます。 **SHIFT ボタン**を押しながら、このボタンを押すと、LIVE SEQ メニューが表示され、ドラムやキーシーケンスの作成が行えます。詳しくは**ライブシーケンサーを使用する**をご参照ください。
12. **ディスプレイ画面：**設定メニュー、調整可能なパラメータを表示します。
13. **エンコーダーノブ：**このノブを回し、メニューオプションを選択します。ノブを押してオプションを決定します。
14. **BANK A/B / CV SETUP ボタン：**このボタンで、パッドバンクの BANK A/BANK B を切り替えます。**Shift ボタン**を押しながら、このボタンを押すと、CV SETUP メニューが表示されます。CV 機能の詳細については、別紙のユーザーガイドをご参照ください。
15. **SCALES/CONFIG ボタン：**このボタンを押すと、Scales モードの ON/OFF が切り替わります。 この機能が ON の場合、指定したノート以外のキーは、触っても発音しない状態となります。**Shift ボタン**を押しながら、このボタンを押すと、スケール構成メニューが表示されます。
16. **CHORDS/CONFIG ボタン：**このボタンを押すと、Chord モードの ON/OFF が切り替わります。この機能が ON の場合、キーを押した時に、指定したコードタイプとスケールに応じて和音演奏を行います。**Shift ボタン**を押しながら、このボタンを押すと、コード構成メニューが表示されます。
17. **SHIFT ボタン：**このボタンを押しながら各機能のボタンを押すかノブを回すと、それぞれのサブ機能を実行することができます。サブ機能の名称は、各機能のボタンに白字で印字されています。このボタンを素早く 2 回押すと、シフト機能がロックされ、各ボタンやノブが、常にサブ機能を実行するようになります。もう一度押すと、シフトロックが解除されます。
18. **HOME/SAVE ボタン：** このボタンを押すと、ディスプレイ表示がホーム画面に戻ります。**SHIFT ボタン**を押しながら、このボタンを押すことで、8 個のプログラムスロットへ、現在の設定を、プリセットの一つとして保存できます。
19. **PROG SELECT/EDIT ボタン：**このボタンを押したままパッドを一つ押し、プログラムを(1-8)から選択します。プログラムとは、MPK mini Plus での設定をセーブしたファイルのグループのことです。プログラムは（コンピュータにダウンロードした）MPK mini Plus Program Editor で作成し、MPK mini Plus に送ることができます。**SHIFT** ボタンを押しながら、このボタンを押すと、 **EDIT** メニューが表示されます。プログラムエディットの詳細については、別紙のユーザーガイドをご参照ください。
20. **アサイナブル・ノブ：**これらの 360° 度回転ノブで、MIDI CC メッセージを送信します。**SHIFT ボタン**を押しながら各ノブを回すと、それぞれのサブ機能を操作できます。



21. **[<<] Rewind/PREV STEP ボタン：**このボタンを押すと、接続されている DAW の[巻き戻しボタン]として機能します。内蔵シーケンサーを編集中に、このボタンを押すと、前のステップに移動します。
22. **[>>] Fast-Forward/NEXT STEP ボタン：**このボタンを押すと、接続されている DAW の[早送りボタン]として機能します。内蔵シーケンサーを編集中に、このボタンを押すと、次のステップに移動します。
23. **STOP ボタン：**このボタンを押すと、接続されている DAW のトランスポート機能を使用して再生を停止します。**SHIFT ボタン**を押しながら、このボタンを押すと **Global** メニューが表示され、トランスポーズ・タップテンポ・オクターブ・パッドチャンネル・アフタータッチなどのグローバルパラメーターを編集することが出来ます。グローバルパラメーターの詳細については、別紙のユーザーガイドをご参照ください。
24. **PLAY ボタン：**このボタンを押すと、接続されている DAW のトランスポート機能を使用して再生が開始されます。
25. **REC ボタン：**このボタンを押すと、接続されている DAW の録音が開始されます。
26. **SEQ PLAY/STOP ボタン：**このボタンを押すと、内蔵シーケンサーの再生・停止を実行します。 再生を一度停止した後に、再びを再生を再開すると、シーケンスの先頭から再生が始まります。

リアパネル



1. **USB ポート：** USB ケーブルでコンピュータに接続し、キーボードへの電源供給と MIDI データの送受信を行います。USB-AC アダプター(別売)と接続して電源供給することも可能です。
2. **SUSTAIN 入力：**サスティンペダル(別売)を接続する端子です。鍵盤を押さえてサスティンペダルを踏むと、鍵盤から指を離しても演奏した音が持続します。
3. **CV/GATE 出力**(1/8" / 3.5 mm, TS)**：** 外部シンセやシーケンサーに CV/GATE 信号を送る出力です。標準の 3.5 mm ケーブル(TS)を使用し、1 つの出力につき、以下のいずれか 1 系統の CV/Gate 信号を送信します。
   - **Pitch：**CV ピッチメッセージを送信します。
   - **Gate：**ゲート(音の長さ)メッセージを送信します。
   - **Mod：**CV モジュレーションまたはベロシティメッセージを送信します。
4. **CLOCK IN：**外部シンセやシーケンサーから送信されるコントロール電圧(CV)のタイミング信号を受信します。クロック信号を受信すると、内蔵アルペジエーターやシーケンサーのテンポが、送信元の外部デバイスとテンポ同期します。
5. **CLOCK OUT：**外部シンセやシーケンサーから送信されるコントロール電圧(CV)のタイミング信号を送信します。テンポ設定が **Internal** の場合は、内蔵アルペジエーターのテンポが、**External** の場合は、 受信している MIDI クロックが、それぞれ送信されます。
6. **MIDI IN：**標準 5 ピン MIDI ケーブルで、本製品と MIDI キーボードやパッドコントローラーなどの外部 MIDI デバイスの出力端子を接続します。
7. **MIDI OUT：**標準 5 ピン MIDI ケーブルで、本製品とシンセサイザーやドラムマシーンなどの外部 MIDI デバイスの入力端子を接続します。

オペレーション(操作)

スケール(Scales)の構成

スケールモードでは、 指定したノート以外のキーは、触っても鳴らない設定にすることができます。**Scales** ボタンと **Shift** ボタンを同時に押して、スケールモードの設定メニューを開き、**エンコーダーノブ**を使用して、下記のパラメータを編集します。この機能の詳細については、別紙のユーザーガイドをご参照ください。

パラメータ	設定範囲	備考
Mode	On, Off	スケールモードの ON/OFF を切り替えます。
Key	C-B	使用するスケールのキーを決定します。この設定は **Chords** モードと共通となります。
Scale	Major, Melodic Minor, Harmonic Minor, Major Pentatonic, Minor Pentatonic, Dorian, Phrygian, Lydian, Mixolydian, Aoelian, Locrian, Blues, Flamenco, Hungarian	使用するスケールを決定します。この設定は **Chords** モードと共通となります。
NonSC (Non-Scale Notes)	Off, Transpose	設定したスケール以外の音を消音するか（Off）、設定された音階に移調するか（Transpose）を設定します。

コード(Chords)の構成

コードモードでは、1 つの鍵盤を押すだけで和音を発音させることが出来ます。**Chords** ボタンと **Shift** ボタンを同時に押してコードモードの設定メニューを表示します。**エンコーダーノブ**を使用して、モードを有効(enable)/無効(disable)を切替え、下記の表に従いコード種類と組合せ方を編集します。

パラメータ	設定範囲	備考
Chord Type	1-3-5, +7, +7+9, Maj7, Min7, Dom7	1-3-5 を基本の和音構成(トライアド)し、更に 7th を加えるには+7、7th と 9th を加えるには+7+9、または 7th コードの種類を選択できます。
Key	C-B	コードのキーを決定します。このキー設定は、**Scales** モードと共通になります。
Scale	Major, Melodic minor, Harmonic minor, Major pentatonic, Minor Pentatonic, Dorian, Phrygian, Lydian, Mixolydian, Aoelian, Locrian, Blues, Flamenco, Hungarian	使用するスケールを決定します。この設定は **Scales** モードと共通となります。

パラメータ	設定範囲	備考
Inversion Type	None, 1st, 2nd	発音するコードの転回(inversion)させる種類を設定します。None に設定すると、ルートポジションで発音されます。

アルペジエーター(Arpeggiator)を使用する

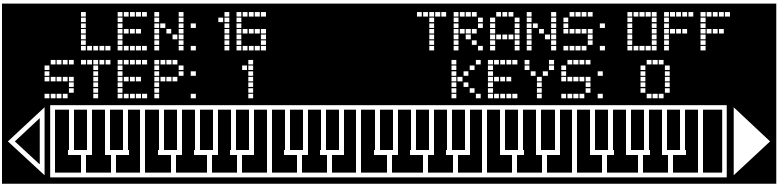
Arp ボタンを押すと、アルペジエーター機能が有効になります。アルペジエーター機能は、複数のパラメーターに従い動作します。**Arp** ボタンを押しながら、対応するキーを押すか、**アサイナブル・ノブ**を使用して下記のパラメーターを編集します。

パラメータ	設定範囲	備考
Arp On/Off	On, Off	アルペジエーターの ON/OFF を切り替えます。
Div (Time Division)	1/4 note, 1/4 note triplet (1/4T), 1/8 note, 1/8 note triplet (1/8T), 1/16 note, 1/16 note triplet (1/16T), 1/32 note, 1/32 note triplet (1/32T)	アルペジオのレート（クオンタイズ：音符の単位）を設定します。
Swing	50% (no swing), 55%, 57%, 59%, 61%, 64%	アルペジオのスイングの設定を選択します。
Mode	Up, Down, Incl, Excl, Order, Rand, Latch	アルペジオの再生方法を設定します。 **Up**：和音の一番低いノートから一番高いノートの順番でアルペジエーターの発音を繰返します。 **Down**：和音の一番高いノートから一番低いノートの順番でアルペジエーターの発音を繰返します。 **Excl** (Exclusive)：例えば、「ド・ミ・ソ」のアルペジエーターの場合「ド、ミ、ソ、ミ、ド、ミ、 ソ、ミ、ド」のようにアルペジエーターの発音を繰返します。 **Incl** (Inclusive)：例えば、「ド・ミ・ソ」のアルペジエーターの場合「ド・ミ・ソ」、「ソ・ミ・ ド」、「ド・ミ・ソ」、「ソ・ミ・ド」のようにアルペジエーターの発音を繰返します。 **Order**：キーボードを押さえた順番でアルペジエーターの発音を繰返します。 **Rand** (Random)：押さえた鍵盤のノートをランダムに繰り返し発音させます。
Oct (Octave)	1, 2, 3, 4	アルペジオのオクターブ範囲を決定します。

パラメータ	設定範囲	備考
Lat (Latch)	On, Off	ラッチモードをオンにすると、鍵盤を押さえたままでも、弾いた音 を繰り返しアルペジオにすることができます。 鍵盤を押している間、さらに鍵盤を押せば、アルペジオの構成音に音を追加することができます。 鍵盤を押してから離し、さらに新たな音の組み合わせを押 すと、アルペジエーターはその音を記憶してアルペジオを奏でます。
Sync	Internal, External, CV Trig.	アルペジエーターのテンポを MPK mini Plus の内部クロック、外部 MIDI ソース、または Trig モードで CV クロック入力からテンポ情報を受信するように指定します。
Gate	10%-99%	アルペジエーターの音の長さ(Gate)を設定します。設定した音符の分割数に対するパーセンテージで表示されます。
BPM	30-240	アルペジエーターのテンポを設定します。 **Tap Tempo** ボタンでも設定が出来ます。

注意： アルペジエーター機能と、ステップエディットモードおよびライブシーケンスモードのシーケンサー機能は、同時に使用することはできません。

ステップエディタ(Step Editor)を使用する



Shift ボタンを押しながら **Octave Down** ボタンを押すと、ステップエディタメニューが表示されます。ディスプレイ上に、キーボードで選択されているノート情報が視覚的に表示されるほか、シーケンスの長さ(LEN)、現在のステップ(STEP)、現在のステップ上で演奏しているキーの数(KEYS)、と**トランスポーズ**モードの状態(TRANS)が表示されます。ステップシーケンスは、最大 64 ステップまで入力できます。各ステップへ、ベロシティ(velocity)と発音の長さ(length)を含めて最大 8 ノートを入力できます。

ステップシーケンスにノートを追加するには、[<<]/[>>]ボタンを使ってシーケンス内のノートを追加したい場所へ移動します。次に追加したいノートの**キー**押して、選択したステップ上にノートを入力します。入力されたキーの場所が、ディスプレイのキーボード上で白く表示されます。入力したキーをもう一度押すことで、ステップシーケンス上からノートを消去できます。また、**パッド**を押すことで、ドラムシーケンスにドラムを入力・消去することが出来ます。

1 ステップより長いノートを設定するには、ノートのキーを押しながら**[>>]**ボタンを押します。ノートの長さは最大 64 ステップまで設定することが出来ます。シーケンスの長さを超えるノートは、自動的に切り捨てられます。

ノートを上下にトランスポーズするには、エンコーダーノブでトランスポーズモードを選択して ON にします。キーボードを使用して中央の C を基準とし、上下に 12 半音ずつトランスポーズするか、トランスポーズしないかを選択します。

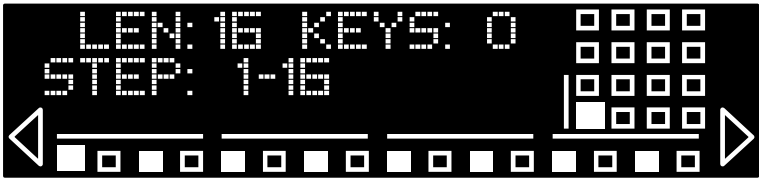
シーケンスからすべてのイベントを消去(clear)するには、Shift ボタンを押しながら **Full Level** ボタンを押すことでキーボードイベントが、**Shift** ボタンを押しながら **Tap Tempo** ボタンを押すことでドラムイベントが、それぞれが消去されます。

Seq Play/Stop ボタンを押すとシーケンスが再生され、もう一度押すと再生が停止します。**[<<]/[>>]**ボタンまたは**エンコーダーノブ**でシーケンスのステップを移動できます。**Shift** ボタンを押しながら**アサイナブル・ノブ**を操作することで、各パラメーターの編集が可能です。

注意：シーケンスが再生中にキーイベントを削除するには、シーケンサーが削除したいステップを通過している時に、**Shift** ボタンを押しながら削除したいキーを押す必要があります。

パラメータ	設定範囲	備考
Len (Sequence Length)	01-64	ステップエディターとライブシーケンサーの間で共有されます。
Trans (Transpose status)	Off, On	トランスポーズ機能のオン／オフの状態を示す。
Step (Sequencer Step)	01-64	シーケンス内の現在のステップ番号を示す。
Keys	0-08	現在のステップで入力されているキーの数を示す。

ライブシーケンサー(Live Sequencer)を使用する



SHIFT ボタンを押しながら **Octave Up** ボタンを押してライブシーケンサーメニューを表示します。ディスプレイ上に、シーケンスの長さ(LEN)、現在のステップ(STEP)、現在のステップ上で演奏しているキーの数(KEYS)、選択しているパッドの情報が視覚的に表示されます。塗りつぶされたマスはドラムが入力されていることを表し、塗りつぶされていないマスは、入力が行われていないことを表します。左右の矢印は、表示範囲外にステップがあることを示します。

ドラムシーケンスをプログラムするには、 いずれかの**パッド**を 1 回押すと、シーケンスの現在選択されているステップにドラムヒットが追加され、もう一度押すと削除できます。8 個のパッドは、**Bank A** の時は始めの 8 ステップに、**Bank B** の時はステップ 9-16 にそれぞれ対応しています。**Shift** ボタンを押しながら**アサイナブル・ノブ**を操作することで、各パラメーターの編集が可能です。

編集したいパッドを選択するには、Shift ボタンを押しながらパッドを押すことで、ディスプレイに表示することができます。SHIFT ボタンを押している間、現在選択されているパッドは、画面上に白色で表示されます。別のパッドを押して選択します。選択したパッドが白色で表示されます。SHIFT ボタンを離すことで、現在選択されているパッドのドラムヒットがシーケンス上に入力されます。

シーケンスからすべてのイベントを消去するには、Shift ボタンを押しながら **Tap Tempo** ボタンを押すことでドラムイベントが、**Shift** ボタンを押しながら **Full Level** ボタンを押すことでキーボードイベントが、それぞれが消去されます。

Seq Play/Stop ボタンを押すとシーケンスが再生され、もう一度押すと再生が停止します。**[<<]/[>>]**ボタンまたは**エンコーダーノブ**でシーケンスのステップを移動できます。**Shift** ボタンを押しながら**アサイナブル・ノブ**を操作することで、各パラメーターの編集が可能です。

ライブキーボードレコーディング：

ライブシーケンサーがアクティブかつ再生されている状態で、任意のステップでキーと押すと、そのステップに対応するノートを追加することができます。

Shift ボタンを押したまま、同じステップで、同じノートをもう一度押すと、そのノートがシーケンスから削除されます。

パラメータ	設定範囲	備考
Len (Sequence Length)	01-64	ステップ・エディターとライブ・シーケンサーの間で共有されます。
Step (Sequencer Steps)	01-16, 17-32, 33-48, 49-64	ライブ・シーケンサーの各ステップには、ベロシティ付きのノートを最大 16 個まで保存することができます。
Keys	0-08	現在のステップで入力されているキーの数を示す。入力内容に応じてリアルタイムに更新されます。

付録

技術仕様

接続端子	(1) USB Type-B port (5) 1/8” (3.5 mm) TS CV ports (2) MIDI DIN ports (1) Sustain input
電源	USB バスパワー
サイズ (W x D x H)	45.11 cm x 18.0 cm x 5.2 cm
重量	1.26 kg

※仕様は断りなく変更になる場合がございます。

商標およびライセンス

Akai Professional と MPC は、米国および他の国々で登録された inMusic Brands, Inc.の商標です。
macOS は、米国 Apple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
他のすべての製品名、会社名、商標、または商号は、それぞれの所有者のものです

AKAI PROFESSIONAL

akaipro.com

Manual Version 1.3R2